

図書館だより

平成23年6月



島根県立図書館報 第193号

主な内容

- 巻頭言 1
- Web予約サービス案内 2
- 「この本いいいよ!」大募集!! 2
- 平成23年度子ども読書活動優秀実践図書館・団体 2
- 館内資料展示コーナー 3
- レファレンス事例紹介 3
- おしらせ・利用案内 4

※行事予定は、カウンターでお渡しします。

今、我々にできること

社会福祉法人島根ライトハウス
ライトハウ斯拉イブラリー

館長 浅野 紳

3月11日に発生した東日本大震災は、大きな爪あとを残し、現在もなお被災された方々は、不自由な生活を余儀なくされています。お亡くなりになった方も多くありました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

さて、前述のような災害が発生した直後であるからかもしれませんが、よく「今、私にできること」「今、我々にできること」というような言葉を見たり、聞いたりします。被災されたみなさんに、何かをしてさしあげたいという素直な気持ちの表れではないでしょうか。それは、例えば救援物資の収集であったり、募金活動であったり形は様々です。ですが、いずれも今必要とされていることへの対応です。

ライトハウ斯拉イブラリーは、開館以来、視覚障がい者の方々への情報提供を行ってまいりました。当然、情報を提供していく側も正確な内容をお伝えする責任があり、それには、まず氾濫している情報の中で正しいものを選択できる眼を持つこと、そして情報の内

容を理解し、的確な説明ができるだけの能力を身につけていくことが重要になってきます。実際、情報収集ツールとしての電子機器の発展はめざましいものがあり、それひとつを取っても、対応は非常に多様になってきています。

これからも、当館をご利用いただく視覚障がい者の方々、また、ボランティアのみなさまが、今何を求められておられるのかをしっかりと把握し、的確な対応をしていくことが我々の果たすべき使命だと考えています。そして、私たちも「今、我々にできること」について常に考え、情報収集のためのアンテナを張っておくことが大事な役割であると再認識をしているところです。

当館は、県民のみなさまにも広く開放された施設を目指しております。事前にご連絡をいただければ、館内見学なども可能ですので、ぜひ、一度お立ち寄りいただければと思います。また、視覚障がいに関する福祉研修会へのご協力などもさせていただきますので、お気軽にご連絡ください。



平成24年10月25・26日
全国図書館大会島根大会(松江市) 開催!

Web予約サービス始めました

<http://www.lib-shimane.jp/>



サービス内容

- 貸出中の図書・雑誌の予約
- 貸出や予約状況の確認
- 貸出中の資料の延長手続き

次の予約がない場合のみ、貸出しの期限内に1回まで可能です。

- ◆予約（リクエスト含む）は5冊まで可能です。
- ◆ご予約の図書・雑誌をご用意でき次第、メールでご連絡します。
- ◆メール受信から2週間の間にご来館いただき、貸出の手続きを行なってください。
- ◆携帯電話の方は、ホームページトップのQRコードを読みとって登録をすすめてください。

利用の手続き

- 県立図書館ホームページ
<http://www.lib-shimane.jp/>
Web予約サービス
パスワード申請→資料詳細検索画面ログイン
→利用者情報メンテナンス→メールアドレスの登録

- *事前に県立図書館で貸出登録のお申込みが必要です。
(=貸出カード発行手続き)



- お問い合わせ先
島根県立図書館中央カウンター Tel.0852-22-5748

『この本いいよ!』大募集!! ~島根の高校生・高専生おススメの一冊~

高校生・高専生のみなさん、あなたのお気に入りの本を紹介していませんか。コメントでもイラストでも構いません。投稿された作品の一部は、読書週間(10月27日~11月9日)中に、本と一緒に県立図書館で展示します。

応募用紙は各学校、公共図書館に配布します。また、県立図書館ホームページからもダウンロードできます。応募については原則学校を通じてお送りください。

応募締めきり 9月16日(金)

問い合わせ先 島根県読書推進運動協議会事務局(島根県立図書館内)

TEL:0852-22-5729

FAX:0852-22-5728



『シアター!』(有川浩著)の紹介

平成23年度 子どもの読書活動優秀実践図書館・団体

島根県から次の2団体が、文部科学大臣表彰されることになりました。おめでとうございます。

邑南町立図書館石見分館(邑南町)

掛合町子ども読書連絡協議会(雲南市)



邑南町立図書館石見分館

館内資料 展示コーナー

お勧め
したい本

県立図書館では毎月テーマを決めて資料の展示を行っています。3月から5月に展示した資料の中から、皆さまに是非読んで頂きたい本を紹介します。

※展示リストはホームページからもご覧になれます。

※URL: <http://www.lib-shimane.jp>

3月テーマ 色の世界

『日本の色辞典』

吉岡幸雄／著 紫紅社 2000年刊

日本の伝統色のうち209色を、自然の材料を用いて染めたり塗ったりして再現しています。赤系だけで50種類以上あるのには驚きます。古くから日本人が観て感じてきた色をじっくり味わうことができます。

『色彩学貴重書図説』

北島耀／著 日本塗料工業会 2006年刊

今回の展示のきっかけとなったゲーテの『色彩論』など色彩の基本的文献について、カラー図版を交えてやさしく解説しています。印刷技術など本の造作の点でも評価できる、色に関する総合的入門書といえます。

4月テーマ しまねのミュージアム

『石正美術館と石見の人 その八つの物語』

神 英雄／著 自照社 2006年7月発行

今年で開館10周年をむかえる石正美術館。その美術館が三隅の地に誕生してから、「地域」と「本物」にこだわり地元の人々と一体になって歩んできた5年間の様子が、石正美術館主任学芸員である著者により記されています。

『島根ミュージアムめぐり』

しまねミュージアム協議会／監修 ワン・ライン 2006年12月発行

私たちの住む島根県にはこんなにもいろいろなミュージアムがあったのか、とあらためて気がつくガイドブックです。読むだけでも楽しく、また本書をもとに実際に訪れても楽しい一冊です。

『文化庁買上優秀美術作品図録』

文化庁／編集 2009年2月発行

文化優秀美術作品買取事業は昭和34年に始まり平成18年に終了するまで、芸術家の創作意欲の向上と美術界の発展に寄与してきました。この図録には50年近くにわたる作品が紹介されています。優秀作品の中には郷土の芸術家で日本画の石本正を始め、橋本明治、澄川喜一の作品も見ることができます。

5月テーマ 自然と友達—野遊びの本に親しむ

『里山百年図鑑 野遊びを楽しむ』

松岡達英／作 小学館 2008年刊

数多くの自然科学絵本を手掛けてきた著者が、身近な自然とそこに暮らす生き物たちとの関わり方や楽しみ方を自身の体験を通して紹介した絵本です。細部にまで行き届いた著者の観察眼と自然への深い愛情が伝わってきます。

『遊びの四季 ふるさとの伝承遊戯考』

かこさとし／著 じゃこめてい出版 1975年刊

絵本作家の著者が、四季折々の伝承的な子どもの遊びを五十種ほど紹介する中で、今の子どもたちの状況や遊びを憂い、大人が昔を懐かしむだけでいいのかと自問しています。挿絵も素晴らしくて遊びの面白さを盛り上げています。第23回日本エッセイスト・クラブ賞受賞作。

『野遊びカレンダー』

朝日新聞大阪本社／編 かもがわ出版 1998年刊

本書は新聞の連載記事を書籍化したもので、草花や昆虫採集、山菜摘み、野外料理の極意、野鳥観察など、自然が大好きな達人たちが身近で楽しめる野遊びを写真やイラスト入りで紹介しています。

レファレンス事例紹介

こんな問い合わせがありました

Q 県庁前庭園にある三の丸石碑を建立した山本誠兵衛とはどういう人物か。また、揮毫者は誰か。

A 山本誠兵衛は明治から大正にかけて活躍した実業家で、松江商業会議所（商工会議所の前身）の創立と発展に努め、初代副会長に推薦されました。また、松江電燈会社、山陰貯蓄銀行などの創立に尽力し、43年には山陰新聞（現山陰中央新報）社長に就きました。揮毫者は書道家の毛利梁涯（八弥）で、県職員を退職後、松江商業高校で書道教師（M34～T13）の職に就き、この三の丸石碑が建立された40年の皇太子行啓では随行の東郷元師より書を賜うことに尽力しました。

●参考文献 『続出雲の石造美術』伊藤菊之助 1966年
『山陰史談 9号』山陰歴史研究会 1975年
『松江商工会議所70年史』松江商工会議所 1962年ほか

日本の子どもの本復刻資料展—明治・大正・昭和

子どもの読書週間中に展示しました。その中から3資料を紹介します。

☆『こがね丸』^{いわさざなみ} 巖谷小波著 博文館

名著復刻全集近代文学館1 日本近代文学館 1968

1891（明治24）年、博文館が『少年文学』叢書第一編として刊行。「凡例」（まえがき）に「此書題して『少年文学』と云えるは、少年用文学との意味にて」とある。声に出して読むために文語体で書かれた、子どものための創作児童文学の最も早い作品。

☆『懐かしの紙芝居』全5巻 大空社 1995

『黄金バット』『丹下左膳』など5冊の昭和初期紙芝居の復刻版。展示中は実演テープを流した。紙芝居は展示終了後は貸出可能。

☆『かがくのとも』復刻版 福音館書店 2010 創刊号（1969.4）～50号（1973.5）

「はじめてであう科学絵本」を謳い、月刊絵雑誌「こどものとも」の姉妹誌として福音館書店が刊行。幼児のための世界で初の月刊科学雑誌。展示終了後、貸出可能。

蔵書点検ってなに？

島根県立図書館では、会社で言う棚卸しにあたる蔵書点検を、年に一度実施しています。図書館資産の把握と、利用者へ正確な資料・情報を提供するために、所蔵の有無と場所の相違の確認を行います。

かつては、曝書^{ばくしょ}と言ひ、書物を虫干しにして、資料保存対策も目的のひとつでした。

蔵書点検に伴う休館は、利用者の皆様にご迷惑をおかけいたしますが、図書館を快適にご利用いただくために必要な大切なことですので、ご理解の程よろしく願いいたします。

6月21日(火)から6月29日(水)まで図書整理・点検のため休館いたします。

「子ども版島根県立図書館・探検ツアー」

期日 平成23年7月28日(木)・8月3日(水)
時間 11時～12時
場所 こどもしつ集合 館内 書庫
内容 クイズに答えながら県立図書館を探検します。終点のおはなしのへやでは紙芝居や大型絵本の読み聞かせがあります。

対象 小学生(定員1回30名)

参加自由・無料

(団体での参加は事前にご相談ください。)



「たなばたかい」

期日 8月5日(金)
時間 午後2時～3時30分
場所 島根県立図書館集会室



- 内容**
- (1) みんなで歌おう たなばたのうた
 - (2) 大型絵本『めっきらもっきらどおんどん』
 - (3) 人形劇『やまたのおろち』
奥出雲町の「おはなしトロッコ」のみなさんが上演していただきます。
 - (4) 工作「ともだちロボット♥ピコピコ！」
「ももとかきのたね」のみなさんが教えていただきます。

対象 幼児、小学校低学年

参加自由・無料 (団体での参加は事前にご相談ください。)

開館日カレンダー



平成23年

6月 展示：国際森林年によせて

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7月 展示：離島の魅力

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	31	25	26	27	28	29
						30

8月 展示：おすすめしたいこどものほん2011

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■黒字…9:00～19:00 ■青字…9:00～17:00
 ■赤字…休館日

読書普及指導員を派遣します

保護者参観や職員・ボランティアの方の研修会等で、親子読書や読み聞かせの基本的な考え方やポイントなどお話しします。お問い合わせ 子ども担当(0852-22-5746) または西部読書普及センター(0855-23-6785)まで。

お近くの市町村図書館を通して貸出します

すべての県民の皆さんに県立図書館の資料を利用してもらうため、市町村の図書館などを通して資料の貸出を行っています。
 ①県立図書館に求める資料があるかどうかは、インターネットの蔵書検索(県立図書館HP)や、電話での問合せ(0852-22-5748)またはお近くの市町村図書館までおたずねください。
 ②借りたい資料が決まりましたら、お近くの市町村図書館(図書館未設置の5町村は中央公民館等)へお申込みください。週1回市町村図書館等へ発送します。

郷土資料収集のお願い

島根に関する資料(古いものも、新しいものも)を収集・保存しています。ご寄贈、情報のご提供をお願いします。

利用案内

- 開館日時間 火曜日～金曜日 3月～10月 9時～19時
11月～2月 9時～18時
土曜日・日曜日・祝日 通 年 9時～17時
- 休館日 毎週月曜日(祝日にあたるときは開館)・第1木曜日
年末年始 12月28日～1月4日・特別整理休館

※詳しくは開館日カレンダーをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.lib-shimane.jp>
 編集発行 島根県立図書館 〒690-0873 松江市内中原町52
 TEL 0852-22-5733 FAX 0852-22-5728

発行日 平成23年6月10日